

◆『経済倶楽部講演録』

バックナンバーのご案内

＊6月号 原田泰「新しい資本主義とは何か」青山瑠妙「流動化する国際情勢と中国の対外政策」相澤孝夫「コロナ禍で明白となった我が国に必要な医療改革」下斗米伸夫「ソ連崩壊からウクライナ戦争まで」悲劇の背景

＊5月号 竹中治堅「岸田文雄政権のコロナ危機対応と」新しい資本主義」辺真一「韓国新大統領誕生！新大統領の対日、対北政策は？」鈴木巨「コロナ禍の医療崩壊はなぜ起きたのか」我が国の医療提供体制の構造問題に迫る」野口悠紀雄「日本は先進国の地位から滑り落ちようとしている」

＊4月号 柯隆「習近平政権の正念場と2022年の中国经济の展望」宇野重規「民主主義とは何か」2022年の視点」西野智彦「日銀漂流、その漂着先」

【編集後記】

為替相場は歴史的な円安局面に突入しています。米国が景気の過熱と資源価格の急騰によるインフレ対応で急ピッチの利上げに動き、欧州各国も金融引き締めに動く中で開かれた日銀の政策決定会合は、ゼロ金利政策の継続を決定、円安がさらに進行しています。日米金利差の拡大から考えても円安には歯止めがかからない可能性が高く、日本の物価上昇もさらに深刻なものになるでしょう。日銀は低金利政策の継続の理由として景気回復に水をさすリスクをあげていますが、そもそも低金利政策が経済の停滞に対して基本的に効果がなかった事実を無視し続けています。

次号は渡部恒雄氏「ロシア・ウクライナ戦争とアメリカの戦略」、前田昌孝氏「株式市場の本当の話」、廣瀬陽子氏「ロシアのウクライナ侵攻と旧ソ連空間の動き」を掲載予定です。

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2022年7月号)

2022(令和4)年7月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 駒橋 憲一 編集人 柴生田晴四

発行 東洋経済新報社

編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉